



# 思春期教室

## ～中学生の乳児ふれあい学習～

思春期の子どもたちが乳児とふれあうことで、生命の尊さや子育ての大切さ、親としての責任や喜びについて考える機会として思春期教室を開催しています。今回は本年度実施した思春期教室について振り返ります。

問い合わせ先 健康推進課健康推進係  
☎ 0968(25)7219

☎ 0968(25)7219

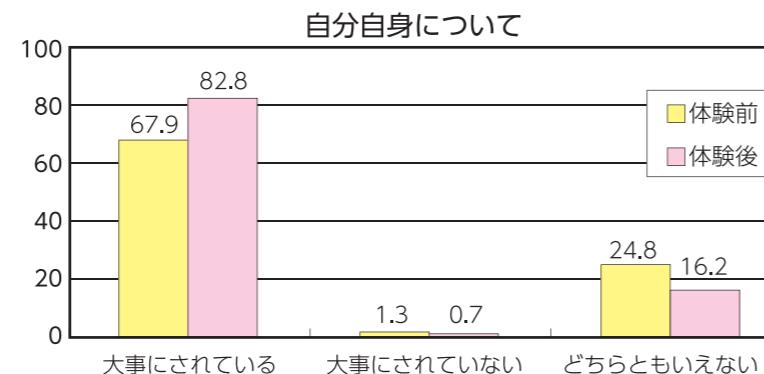
近年、思春期の子どもたちを取り巻く社会環境はめまぐるしく変化し、さまざまな健康課題をもたらしています。本市でも少子化や核家族化が進み、子どもたちが乳幼児と接する機会が減少しています。

「乳児とふれあうことで、生命の尊さや子育ての大切さ、親としての責任や喜びについて考える機会として、市と中学校の共催で実施している事業です。本年度も6月から10月にかけて市内4中学校で2日間にわたり開催しました。

■ 2日目

生後2～10ヶ月の赤ちゃんと母親、母子保健推進員にご協力いただき、「ふれあい学習」を行いました。生徒たちは、赤ちゃんの抱っこや衣服の着替え、おむつ交換を体験。母子健康手帳や妊娠中のエコー写真、アルバムを見ながら、赤ちゃんの母親から出産や育児についての話を聞きました。

突然泣き出したり笑ったり、だっこしていると眠ったりする赤ちゃん。生徒たちは、さまざまな表情を見せる赤ちゃんに戸惑いながらも、母親にあやし方を教えてもらいながら積極的に触れ合いました。



「参加した母親からは、『小さくい頃から大切にされていたことを知つてほし』『生徒さんにはかわいがつてもらえてうれしかった』『上手に抱っこしてもうれえた』『育児の振り返りができてよかったです』『参加して楽しい時間が過ごせた』といったご意見をいただきました。

生徒にとつても母親にとつても貴重な体験となり、有意義な時間を過ごすことができた教室でした。実施前後に実施したアンケート結果からも、自分自身に対し肯定的な意識が高くなつていきました。

中学生から訪れる“思春期”は、成長する過程で心身ともに不安定になりやすい時期です。この教室を通して、自分自身の命や親に対する思いを見つめ直し、命の尊さや親への愛情を感じることができたのではないか。教室で経験したこと、感じたことを、子どもたちが一つでも心に留めて成長していくことを願っています。

協力して頂いた母親の皆さんありがとうございました。

退職者医療制度が存じですか? 会社や役所を退職して年金(厚生年金など)が受けられる65歳未満の人とその扶養者は、「退職者医療制度」で医療を受けます。自己負担割合は、一般的に国保と同じです。

退職者医療制度では、本人の自己負担と保険税のほか、職場の健康保険などの拠出金が財源となっています。退職者医療制度の対象となっているにもかかわらず届け出がないと、拠出金

皆さんのがんの負担軽減にもなります  
ので、対象となつたら国保窓口  
まで必ず届出をお願いします。

▼ 対象となる人

▼ 国保に加入している人

▼ 65歳未満の人

▼ 厚生年金や各種共済組合など  
の年金を受けられる人で、加  
入期間が20年以上もしくは40  
歳以降10年以上ある人

3歳児健診時「むし歯なし」の子

10月11日・18日の  
歯科検診の結果で、  
むし歯がなかった  
子どもを紹介しま  
す。(敬称略)

安妃麻里(菊) 西正觀寺)  
やなみひより(菊)  
本大虎(菊) 遊蛇口)  
はいだ(菊)  
原田(菊) 杉生(菊)  
はらた(菊)  
笹本(菊) 東原(菊)  
ささもと(菊)  
城芽衣(菊) 上赤星(菊)  
じょうめい(菊)  
池邊(菊) 高野瀬(菊)  
いけべ(菊)  
岩崎(菊) 片角(菊)  
いわさき(菊)  
山崎(菊) 東正觀寺)  
やまざき(菊)  
心春悟(菊) 深川(菊)  
こころはるごく(菊)



優しい手つきで衣服を脱がせる生徒



アルバム写真で育児を学習



出産や育児の実体験に耳を傾ける生徒たち